

第26回

日本観光研究学会 全国大会 学術論文集

Proceedings of JITR Annual Conference

2011年12月

目次

第1会場

1. 北前船による「秋田の久保田藩と大坂の岸和田藩」の文化について 1
奥 正孝・井上 大輔・熊谷 芽久・佐藤 真吾
2. 「ユニバーサルサービス」の発展・普及に向けた人材育成 5
重村 史子・母倉 修・糟谷 佐紀
3. 着地型の高齢者・障がい者を対象とする旅行サポート事業構築 9
—ユニバーサルツーリズムの現状と克服すべき課題と今後の可能性—
母倉 修・糟谷 佐紀・鞍本 長利
4. 中山間村地域における観光事業の継続方法に関する一考察 13
—京都市右京区水尾地区を事例に—
中井 郷之
5. NIMBY 研究の動向と課題 17
鈴木 晃志郎
6. 「コーホート型」観光施設のマネジメントに関する一考察 21
宮本 陽子・河本 光弘
7. 案内業者と通弁巡査について 25
—行政は外国人からの批判をどのように受け止めていたか—
上田 卓爾
8. ホスピタリティ研究における配慮行動の概念と 29
サービスの生成過程に関する論理的考察
福島 規子
9. 「旅」にみる戦時下の旅行制限 33
工藤 泰子
10. ミツバチ族の研究 37
朝倉 俊一
11. 旅行先へのファン型リピーターに関する考察 41
大方 優子

12. 旅行者の目に映る観光地 —撮影された写真で見る観光地の魅力— 林 幸史・岡本 卓也・藤原 武弘	45
13. 訪日中国人団体旅行から個人旅行への変容に関する研究 謝 暢	49
14. 日韓大学生の海外旅行意識に関する比較研究 安 哉宣	53
15. アジア地域を中心とした国外旅行者数の特性分析 佐藤 邦明・古屋 秀樹	57
16. ヘルスツーリズムにおける「たのしみ」の現状分析 —韓国のヘルスツアーを対象として— 李 彰美・橋本 俊哉	61
17. 和歌山県におけるヘルス・ツーリズムの現状と課題 —(特非)熊野で健康ラボによる観光商品開発の事例を中心に— 宮城 博文・小沢 道紀・藤田 聡・大友 智	65
18. 医療観光の推進 林 良隆	69
19. サプライチェーンマネジメント・持続可能性・旅行業 —国際連合グローバルコンパクト・サプライチェーン持続可能性 ガイドライン発行と旅行業への適用— 九里 徳泰	73
20. リスク緩和方略に対する経験の影響 —旅行商品購買を中心に— 田中 祥司	77

第2会場

21. 高速交通網整備に伴う地域活性化と観光交通に関する考察 —中九州地区を対象に— 大井 尚司	81
22. 経験経済に関する理論的研究 テミー ウィー エン イアン	85
23. 都道府県観光協会の地域における役割と課題 山本 真嗣	89
24. 海外旅行行動の効力感尺度の開発 —若者の海外旅行離れ「論」への試み— 中村 哲・高井 典子・西村 幸子	93

25. 若者の観光離れとコンテンツツーリズム 金武 創	97
26. SERVQUAL 手法を用いた宿泊利用者の満足度評価構造に関する 基礎的分析 原田 賢二・古屋 秀樹	101
27. 宿泊業における労働者の就業状況への考察 吉川 福利・敷田 麻実	105
28. 日帰りバスツアー参加者の満足度に関する研究 押川 享也・立川 雅子	109
29. 国内ロングステイ市場の全貌を探る 島田 展行	113
30. 成田空港 LCC 大幅増便への対応が迫られる交通アクセス 鳥海 高太郎	117
31. 観光地における顧客のロイヤルティ意識形成に関する定量的アプローチ 山田 雄一・外山 昌樹	121
32. 観光地ブランド —レバノンブランド形成の必要性— キャロル シェマリ	125
33. 統計データの分析に基づく観光客誘致圏に関する研究 池口 功晃	129
34. 地域情報によるイメージ戦略の可能性について 仲村 篤・坂田 圭子	133
35. 持続可能な観光の実現に向けて —潜在顧客の観光地の環境・地域経済・住民に対する意識— 国枝 よしみ	137
36. まちかど博物館の実態と観光的活用に関する研究 倉澤 知久・十代田 朗・津々見 崇	141
37. 観光まちづくり組織の社会ネットワークに関する基礎的研究 平澤 悠花・十代田 朗・津々見 崇	145
38. 新大久保における都市観光地の形成 姜 備競	149
39. 外国人を対象としたジオツアーにおけるモニターの行動分析 宮本 善和・植田 純子・伊藤 太久・松原 典孝	153
40. 世界ジオパークを活用した地域振興のしくみづくりと推進に関する研究 —兵庫県新温泉町を対象として— 小阪 昌裕・金井 萬造	157

第3会場

- | | |
|---|-----|
| 41. 離島観光地の地域間連携政策に関する研究
大谷 健太郎 | 161 |
| 42. まちあるき観光における観光案内標識の重要性
—京都市を事例として—
川口 裕之・宮城 博文 | 165 |
| 43. 訪日インド人旅行者の観光動向とプロモーション活動
石崎 雄久 | 169 |
| 44. 「地域の精神」は観光振興にはどう活かされるべきか
—京都・嵯峨嵐山における中国語圏インバウンド観光に関する
取り組みから—
郭 育仁 | 173 |
| 45. 格差社会の緩和に向けた観光に関する基礎研究
朝水 宗彦 | 177 |
| 46. 観光推進組織の発展過程とその課題
—阿寒湖温泉を事例として—
朝倉 はるみ・梅川 智也 | 181 |
| 47. TALC モデルによる知床観光若返りの限界と新たな視点
—創造的破壊とその系譜—
中鉢 令兒 | 185 |
| 48. 観光地形成におけるメディア活用に関する視点
—朝の連続テレビ小説を中心にして—
井上 晶子・溝尾 良隆・徳田 将史・秋山 綾 | 189 |
| 49. 観光資源化プロセスのマネジメントの重要性
森重 昌之 | 193 |
| 50. 観光地回生に関する研究 I
柿島 あかね | 197 |
| 51. 学生企画によるまち歩きツアーへの評価と展開
—「駅からハイキング」企画を事例として—
臺 純子・山崎 隆之 | 201 |
| 52. 過疎地域における手段としての観光振興
—京都府与謝郡伊根町を研究対象として—
久保田 理沙・峯俊 智穂 | 205 |
| 53. 若年層による観光を通じた交流プロセスに関する一考察
—ゲストハウスにおける「共食」に着目して—
石川 美澄 | 209 |

54. 着地をベースとした都市型ツーリズムの事業構築 —コミュニティ・ベースド・ツーリズムの現状と 克服すべき課題と今後の可能性— 泉 英明・母倉 修	213
55. 茶畑景観を活用した地域振興とその課題 —京都府和東町における事例から— 五艘 みどり・伊吹 学	217
56. 埼玉県久喜市におけるコンテンツ・ツーリズムに対する住民意識 高井 寿文・大石 さつき	221
57. 「涼宮ハルヒ・聖地巡礼」に関する現状調査報告 原 一樹・大崎 みなみ・永島 愛子・本原 世津子	225
58. 愛染まつりに関する一考察 —認知度アンケート調査を通じて— 吉原 大介・猪池 雅憲	229

第4会場

59. 観光地におけるマネジメント情報共有のイニシアティブに関する考察 —「ストーリーテリング」を構築する主体について— 朴 善鈴・村上 和夫	233
60. 観光メディアとしての月刊旅行雑誌から見る1940年の観光者行動について 正木 聡	237
61. 観光資源としての移動空間 —JR九州の観光列車を事例とする一考察— 中村 敏	241
62. 「中目黒」の変容 —目黒区上目黒・青葉台地区が「中目黒」と称するまでの考察— 石脇 愛弓・村上 和夫	245
63. 「お笑い芸」の中で旅はどのように語られるか —「即物的な笑い」から「関係性の笑い」への移行とそれを支える社会— 村上 和夫	249
64. 観光学研究の社会言語学上の障害 武内 一良・ミナート リン	253
65. 俯瞰科学から捉える観光学 井出 明	257
66. 観光学とはなにか —拙稿を素材とした試み— 廣岡 裕一	261

67.	フランス語「ツーリスト」の変遷について 羽生 敦子	265
68.	観光価値の増減要因に関する理論的考察 安島 博幸	269
69.	「動的コミュニティ」概念からみた由布院の観光まちづくり 米田 誠司	273
70.	現代観光の真正性構築における伝統とポピュラーカルチャーの関係 —中国河南省・嵩山少林寺を事例として— 権 赫麟	277
71.	京劇を活用した3つのビジネスモデル —梨園劇場・湖広会館・正乙祠戲楼— 中村 雅之	281
72.	民族観光の政治性と民族文化の認識変容 —ミャンマーのパオ民族自治区における観光を事例に— セイヤー ウィン	285
73.	都市におけるコミュニティ・ツーリズムの実践と可能性 —釜ヶ崎のまちスタディ・ツアーを事例として— 松村 嘉久・ありむら 潜・平川 隆啓	289
74.	ラオス人民民主共和国ルアン・パバーンにおける観光の変容 センサティット シモンケオ	293
75.	スリランカ・ゴール旧市街観光地化における女性のエンパワーメント ラナワカ チャトゥシカ チャヤニ	297
76.	タイ・アユタヤ来訪者の行動評価特性分析 クライシイゲアウ クライラーク・古屋 秀樹	301
77.	エスニック観光と多文化共生のコミュニティ形成 —オーストラリア、シンガポール、および群馬県の事例を中心に— 丸山 奈穂	305

第5会場

78.	台湾における東日本大震災による日本観光旅行への心理的影響 —地震発生直後から半年後の変化— 林 麗華・塩川 太郎	309
79.	北海道での消費者観光動向調査における 東日本大震災の影響(自粛等)に関する調査 河本 光弘	313
80.	東日本大震災後における中国人の日本旅行に関する意識研究 王 曉薇・古屋 秀樹	317

81. 人気英語ウォーキングツアーの分析 — Walk in Kyoto Talk in Kyoto を事例として— 井上 裕子	321
82. コミュニティ放送の観光振興への活用と課題 桑田 政美	325
83. 南三陸町の震災復興における観光ネットワークの意義 佐野 浩祥・清野 隆・三浦 知子・小山 環	329
84. 東日本大震災後の漁村集落の震災復興プロセスにみる観光の役割 清野 隆・山田 耕生・嵩 和雄・三浦 知子	333
85. 被災地復興を目的とした支援基盤構築手段としての ボランティアツーリズムの可能性 依田 真美	337
86. 震災復興ボランティアツアーにおけるリスクマネジメント 稲葉 正思・依田 真美	341
87. 大学主導の国際ボランティアツーリズムの意義と課題 二神 真美	345
88. 観光実践の伝承に関する考察 —ネパール山岳観光を事例に— 工藤 久貢	349
89. 中国都市近郊農村における郷村観光の推進に向けたビジョンの役割 —大連市を事例として— 張 広帥	353
90. 廈門市鼓浪嶼における観光空間の形成 吳 晨峰	357
91. 北京・王府井における観光化の進展とその要因 何 晨	361
92. 「中国茶都」杭州市における茶文化観光の現状と特徴 王 静	365
93. 三重県津市のB級ご当地グルメ「津ぎょうざ」に関する経営学的考察 村上 喜郁	369
94. 郷土料理を手がかりとしたヘリテージ・ツーリズムの方向性 —和歌山県田辺市本宮町における茶文化を事例として— 峯俊 智穂	373
95. フード・ツーリズムにおけるガストロノミーの予備的考察 尾家 建生	377
96. 観光新潮流にみるフードツーリズムと地域振興 —兵庫県姫路の事例から— 千葉 千枝子	381

第6会場

97. 観光学におけるレジャー論教育の意義 385
田中 伸彦
98. 小学校における観光教育の可能性 389
—京都市の次世代教育を対象として—
萩原 里菜・吉原 大介・大島 知典・峯俊 智穂
99. 学習型観光の意義と教育観光としての現状と課題 393
—学習型観光—
津本 厚史
100. 観光学部のキャリア教育と学生の就業力育成支援 397
小畑 カ人
101. 若者の海外旅行離れ対策における観光教育の可能性 401
—海外修学旅行を事例として—
大島 知典・廣岡 裕一
102. 世界遺産観光が地域に与える影響に関する一考察 405
—麗江市拉市海周辺村落の乗馬観光を事例として—
杜 国慶・池 俊介・白坂 蕃・張 貴民
103. MICE 事業におけるユニークベニューとしての文化財活用の現状と課題 409
羽田 知弘・羽生 冬佳
104. 先住民族観光における文化遺産情報へのアクセスのあり方に関する一考察 413
—北海道知床における ICT を活用したヘリテージトレイルの試みから—
張 慶在・山村 高淑
105. イラン・イスラム共和国の世界遺産に見るゾロアスター教の足跡 417
—アケメネス朝はゾロアスター教だったか—
杉山 維彦
106. 「南紀勝浦温泉・町並博覧会」の地域ブランドに果たす役割 421
—“那智勝浦生マグロ”と熊野を資源とする農商工観光連携事業の考察—
近藤 政幸
107. 屋久島における環境保全とエコツーリズムの現状と課題 425
深見 聡
108. 持続可能な観光開発に関する一考察 429
—倫理的概念適応の重要性とその限界—
薬師寺 浩之
109. 北スラウエシ州の国立自然公園 (Bunaken 及び Tangkoko) における 433
観光現状とエコツーリズムに関する意向調査
新垣 裕治・ヤニー D. クーセン
110. 中央アフリカ、カメルーンにおけるエコツーリズムの可能性 437
—環境行動論の視点から—
下休場 千秋

111. 地域コミュニティ開発における着地型観光手法の役割に関する研究 —スリランカの観光地を事例として— 金井 萬造	441
---	-----

ポスターセッション (2011年5月28日(土)発表)

1. エコツーリズムのためのガバナンスのあり方に関する一考察 —日本の世界自然遺産・白神山地を事例に— 岩本 英和	445
2. 日本の大手旅行業者における環境経営への取り組み 九里 徳泰・高田 有	447
3. 東日本大震災が観光地にもたらした影響とその変化 —新聞記事の分析を通して— 井上 晶子	449
4. 福井県美浜町における体験観光による経済波及効果 江川 誠一	451
5. 地域資源を対象とするツーリズムの地域振興効果の研究 —ワインと清酒の特性比較の検証— 八反田 元子・敷田 麻実・木野 聡子	453
全国大会研究発表論文募集要項	455
日本観光研究学会ポスターセッション募集要項	457
全国大会研究発表論文集投稿規程	459